

奥尻町教育委員会教育長 様

北海道奥尻高等学校長

次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

<p>(1) 組織的・計画的な学習指導と評価の工夫改善により、高いレベルの学力を身に付けようとする意欲を引き出し、確かな学力の向上を図る。</p> <p>(2) 探究活動や特別活動などを含め、あらゆる教育活動を通じて、「Okushiriety5.0」の定着を目指し、社会に求められる人間力を身に付けた「持続可能な社会づくり」の主体者を育成する。</p> <p>(3) キャリア意識を高め、自己理解に基づいた進路目標を主体的に定め、積極的に進路実現に挑む姿勢を育成する。</p> <p>(4) 良好な人間関係を構築し、自律・自立した生活を送る態度を育てるとともに、命を大切にする心の育成を図る。</p>
--

2 自己評価結果・学校関係者（学校運営協議会委員、教育委員等）評価結果と改善の方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標の実現に向けて、教職員が一丸となって教育活動を進めてきた。 働き方改革と業務の平準化に努めてきたが、教職員にとって働きやすい環境作りには引き続き改善が必要である。 学校としての保護者や地域住民への情報発信の手段方法について再検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信については、別な方法を考えているようであるので我々委員にも伝えて欲しい。我々からも、学校の教育活動の様子を広めていきたい。
改善方策	WEB ページだけでなく SNS の有効的な活用により学校の教育活動を保護者、町民に知ってもらい開かれた学校となるよう努める。	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動において ICT を活用した主体的、対話的な学びを実践した。 今年度から単元配列表を導入し、教科横断型授業を数教科で実施した。 観点別評価の導入に伴う、研修を計画したが実施することができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT の活用では、校内の Wi-Fi 環境の改善を教育委員会と進めてほしい。
改善方策	今年度できなかった「評価」に関する研修の実施と積極的に授業を見学し合う風土の醸成による「わかる授業」と「主体的に学ぶ」授業づくりを行う。	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が安心安全な学校生活を送れるように努めた。 生徒に悩みに係る相談について積極的に対応した。 寮内での生活指導については、教育委員会と連携しながら進めたが、落ち着いた生活ができる環境までは至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 寮生活では、教育委員会や学校が介入するより、上級生が下級生に対して注意するなど生徒同士での解決できるようになることが望ましい。

改善方策	生徒、保護者から信頼される学校となるため良好な人間関係の構築と問題解決能力を身に付けられるようなプログラムを導入する。寮生活の問題を解決するため、寮長含めた検討会などを行い主体的に解決できるよう育てる。	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により実施できなかった進路活動の企画を実施することができた。 特に、まなびづけについては意欲的に参加した生徒が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・島内・島外問わず希望する進路を達成したことは、喜ばしいことである。
改善方策	今年度の活動のさらなる充実とオンラインを用いた外部講師によるガイダンスの実施などを行い、より適切な進路情報の提供に努める。	
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・スクーバダイビングでは、コロナ禍でできなかったファンダイビングまで活動を終了することができた。さまざまな関係機関の協力のおかげである。 ・パブリシティでは、町の方々の協力により奥尻の魅力発信のマップを作成した。 ・まちおこしワークショップでは、企画が実現したものもある。しかし、実施の意義や目的の理解をせずに参加している生徒も徐々に増えてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリシティの活動は、紙でのマップではなく動画作成にしてもよいのではないか。 ・いままでの企画案(古いものも)を町に提出、提示してみてもどうか。その時はできなかったこともできるようになっていることもあるのではないか。 ・町内の企業(業者)への「ゼロカーボン(カーボンニュートラル)」に関連した企画も検討した方がよい。
改善方策	奥尻町の協力により、実現できている探究活動であり、今後も探究活動やボランティア活動などを通じて地域に貢献できる人材育成を進める。	
公表の方法	学校WEBページ、PTA役員会などで公表する。	

3 添付資料

令和4年度 北海道奥尻高等学校学校評価集計結果

(高校教職員、生徒、保護者、教育委員、教育委員、学校運営協議会委員)